

【第1回熊本駅新幹線口駅前広場改修に関する懇談会】

日時: 令和6年9月30日(月)14:00～16:15

場所: 熊本市国際交流会館 4F 第一会議室

- 1 開会
- 2 事務局挨拶(秋山都市建設局長)
- 3 出席者紹介(出席者は別添のとおり)
- 4 議事(事務局説明)
 - ①駅前広場のデザイン検討手順(公開)
 - ②景観設計(シェルター含む)に関する設計条件(非公開)

5 意見要旨

①駅前広場のデザイン検討手順について・・・公開

■田中氏

- ・ワークショップの参加者は、昨年度と同じか。

■事務局

- ・参加者は検討中であるが、昨年度の参加者に加えて、さらに増やす予定である。

■田中氏

- ・追加の参加者は必要である。
- ・ワークショップ結果について、市民へ広報すべきである。

■事務局

- ・市HPやLINEなど、広報方法を今後検討する。

■田中氏

- ・広報する場合、検討内容よりも、実施していることを広報することが重要である。

■岸井氏

- ・ワークショップへは、JRの参加も促すこと。

■事務局

- ・昨年度は、地域住民、JR、周辺企業に参加していただいている。
今年度は、一般市民や駅利用者など参加者を増やしたいと考えている。

■星野氏

- ・HPでの広報は浸透しにくい傾向があるため、オープンハウス方式の広報を計画してはどうか。

■田中氏、原田氏

- ・オープンハウス方式の広報は、駅前広場のデザインが確定した段階で実施するのが望ましいと考える。

■岸井氏

- ・長野駅改修事業では、市民からの意見を広く聞くために、部分改修案と全面改修案の模型をコースに展示した事例がある。

■田中氏

- ・熊本駅新幹線口で広場改修計画が進められていることを知らない市民もいる。
- ・2段階程度で広報するのが望ましい。

■星野氏

- ・今年度は、新幹線口で広場改修計画が進められていることを広報することが望ましい。

■田中氏

- ・広報のやり方としては、市 HP や LINE だけではなく、壁新聞を駅舎や広場内に掲示する方法もある。

■事務局

- ・新幹線口駅前広場のデザインは、人気投票にならないように、ワークショップ結果をもとに、最適案を選定したいと考えている。ワークショップの進め方や開催回数についてご意見を伺いたい。

■田中教授

- ・ワークショップの開催回数は、第 1 回ワークショップの実施結果から、柔軟に対応すべき。

■原田氏

- ・参加者がワークショップの目的を理解して参加することが重要。ワークショップの意味やその結果の活用方法等について、参加者へしっかり説明する必要がある。

②景観設計(シェルター含む)に関する設計条件について …… **非公開**

熊本市情報公開条例第7条に該当するため、会議は非公開

終了